

五十幡和彦

— 自分を磨き、事業も磨き、世界平和に貢献するために —

“入って良かったロータリー”

Rotary Moment 会員誰もが、

ロータリーで出会った感動と魅力を語れるように

会員数の減少に直面するロータリーにあって、考えていただきたいのは「これまでロータリーに入っていた自分」と「もし入っていなかった場合の自分」です。今日までクラブを退会せず、在籍しているのは何らかの理由があるはず。ロータリークラブに入って良かった体験があるはず。

ロータリーでは様々な出会いがあります。様々な学びがあります。そして地域社会や世界平和に貢献出来る奉仕活動があります。今日までの自分の成長も会社の発展も、世界平和の一助に貢献出来ているのも、全てはロータリークラブに入っていたからではないでしょうか。私たちは「ロータリーに入って良かった」ことや、ロータリーで出会った様々な感動と魅力—Rotary Moment—を、会員誰もが周りの人に語れるようにしなければなりません。ロータリーに入って良かった、という思いと体験が退会防止につながります。そして新会員を勧誘する一番の原動力になります。

■5 大地区方針

(1) ロータリーの奉仕活動のブランド化

【クラブ】クラブの奉仕プロジェクトのブランド化

ロータリーに入って良かったという思いは「体験」でしか実感できません。その為にはクラブで取り組む奉仕プロジェクトの充実が大切です。充実した奉仕プロジェクトを行うことにより、ロータリーの公共イメージが向上し、その魅力が会員増強につながり、更に大きな奉仕プロジェクトが可能になります。

そして各ロータリークラブは、何をやっている団体なのか地域の皆様に分かってもらえるブランド力を付けることが必要です。会員誰もが自分のクラブの行っている奉仕活動を、自信をもって語れることが大切です。ロータリーが地域に、無くてはならない団体、必要とされるためにも、各クラブの奉仕活動をブランド化していきましょう

【国際ロータリー、第 2570 地区】ポリオ根絶と第 2570 地区ポリオデー

各クラブの地域における奉仕活動のブランド化に加え、国際ロータリーが行っている奉仕プロジェクトも、会員誰もが説明できるようにブランド化しなければなりません。

国際ロータリーの最優先事項はポリオ根絶の取り組みです。1988 年ロータリーがポリオ根絶をスタートした時には世界で 35 万人のポリオ感染者がいました。それが今日ではアフガ

ニスタンとパキスタンに合わせ一桁の感染者数まで減少させることが出来ました。まさしくロータリーが世界になくはならない団体として、世界に引き起こした奇跡です。ロータリーのマジックです。世界からポリオを根絶できる日まであと一歩です。2024-25年度は東松山で行われる日本スリーデーマーチに第 2570 地区のポリオデーとして参加し、ポリオ根絶を推し進めます。

(2) 各クラブ 2 名以上の会員数純増と DEI の推進

クラブの奉仕活動においても、ポリオ根絶活動においても、より大きな奉仕プロジェクトを実現するためには、より多くの会員と共に活動を行うことが必要です。そして会員増強が出来ないクラブはやがて存続の危機に直面します。そのためにも各クラブ 2 名以上の会員数純増が必要です。

会員がクラブに参加して楽しいのは、①居心地が良いこと、②自分が大切にしてもらえていることです。そのためにクラブは DEI (多様性、公平性、インクルージョン) を推進し、あらゆる人が歓迎されるクラブにしましょう。

(3) ロータリー財団への理解と寄付目標達成

ロータリーの目指す世界平和、ポリオ根絶には財源が必要です。こうした「世界でよいことをしよう」をモットーとする貢献を、持続可能にすべく法人化されたのがロータリー財団であり、公益財団法人ロータリー日本財団は「特定公益増進法人」として税制上の優遇措置が認められています。

世界平和とポリオを根絶するためにも、ロータリー財団への理解と年次基金など目標達成に向けた会員とクラブによるロータリー財団へのご理解と寄付をお願いします。

(4) 行動計画 (指針) 他、ロータリーの取り組みと理念の再確認

今日まで 120 年近くロータリーが継続発展してこられたのはロータリーの目的、標語、四つのテスト、行動規範、中核的価値観など会員の共感を呼ぶ優れた理念があったからです。そしてこれからの新たな時代の変化に対応し、世界に必要とされる団体としてあり続けるため行動計画 (指針) を定め、2024 年から新たに「3 年間の目標と計画 (3-Year Rolling Targets)」が発表されました。改めて私たちはロータリーの理念を大切に、新たな時代の変化に対応すべく目標を設定し達成していくことが必要です。

(5) 次の世代にロータリーのすそ野を広げるローターアクトクラブ支援

次の世代の理解と支持なくして団体の未来はありません。国際ロータリーは未来に向けて若い世代にロータリーの活動を広げるべく、ローターアクトクラブの設立を推進しています。私たち国際ロータリー第 2570 地区は日本で初めてのローターアクトクラブを設立したにもかかわらず、現在地区内のクラブは 2 つにとどまっています。今年度は新たなローターアクトクラブ設立も含め、次の世代にロータリー活動のすそ野を広げていきましょう。

■クラブの活性化

ロータリーはクラブの活動が基本です。クラブの活動の躍進なくして、ロータリーの発展はありません。国際ロータリーはクラブの強化と効果的なクラブの管理の枠組みを提供すべく CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）を定めました。この中で 2024-25 年度は「標準クラブ定款、細則に基づくクラブ定款、細則の導入」「CLP に基づくクラブ委員会組織の推進」「クラブでの行動計画（指針）の理解と推進」「3年間の目標と計画（3-year Rolling Target / Plan）」「クラブの戦略計画の策定推進」を進めていきます。

■ロータリーラーニング

世界の中で効果的な学びの主流はティーチングからラーニングに変わっています。与えられる学びから、自ら学びとる学びの方が、理解と定着率が高いからです。ロータリーでも各種セミナーの場に、このラーニング手法を導入するとともに、ロータリーの学びにおいて、マイロータリーの登録推進、ラーニングセンターの活用推進、RLI の受講推進を進めていきます。

■5 大地区方針

（1）ポリオ根絶を中心としたロータリーの奉仕活動のブランド化

- ① クラブの奉仕プロジェクトをブランド化し、公共イメージを向上させる
- ② RI、地区のポリオ根絶を中心とした奉仕活動をブランド化する
- ③ 地区の青少年交換事業、米山記念奨学事業、財団奨学生派遣事業、子ども食堂支援等の社会奉仕事業、国際貢献事業をブランド化する

（2）各クラブ 2 名以上の会員数純増と DEI の推進

（3）ロータリー財団への理解と寄付目標達成

（4）ロータリーの目的、四つのテスト、公式標語、行動規範、中核的価値観 行動計画（指針）に基づくロータリーの理念と取り組みの再確認

（5）ローターアクトクラブの支援（若い世代と共にロータリー活動を行う）

■クラブの活性化

- ① 標準クラブ定款、細則に基づくクラブ定款、細則の徹底
- ② CLP に基づくクラブ委員会組織の推進
- ③ クラブでの行動計画の理解と推進
- ④ 3年間の目標と計画（3-Year Rolling Targets）
- ⑤ クラブの戦略計画の策定推進

■ロータリーラーニング

- ① 研修からラーニングへ
- ② マイロータリーの登録推進
- ③ ラーニングセンターの活用推進
- ④ RLI の受講推進

ステファニー A. アーチック
マクマリーロータリークラブ
米国ペンシルバニア州

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25 年度会長テーマ「ロータリーのマジック」（The Magic of Rotary）を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1 月 8 日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです」

マクマリー・ロータリークラブ（米国ペンシルバニア州）の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということ、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバチエシエヒシュ大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始めました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

平和構築の手段としての「四つのテスト」

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ポリオ根絶と資金調達

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

ロータリーの行動計画、クラブでの体験を魅力的なものとする

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。

自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。

「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去 50 年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

会員増強と DEI の促進

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）の原則を取り入れることであると述べました。「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。

たとえば、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」